

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

「あれ？風邪かな？」
と思ったら読みたい本5選

風邪の正体を知るための本や体が温まるレシピ本など5冊をご紹介します。一年で最も寒い今の時期、風邪をひかないよう暖かくお過ごしください。

- 1 かぜの科学**
●ジェニファー・アッカーマン / 著 鍛原 多恵子 / 訳 ●早川書房 ●2014年
- 2 SLEEP**
●ショーン・スティーブンソン / 著 花塚 恵 / 訳 ●ダイヤモンド社 ●2017年
- 3 ハーブティーブレンド100**
●しばた みか / 著 ●山と溪谷社 ●2018年
- 4 風邪とごはん**
●渡辺 有子 / 著 ●筑摩書房 ●2009年
- 5 冷凍うどんて極うまレシピ**
●中島 有香 / 著 ●家の光協会 ●2010年



2月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

- 2F パープルゾーン**
「東京散歩」(～5/15) **NEW!**
「自然散歩」「歴史散歩」「アート散歩」というテーマに分け、テーマごとに東京をじっくりと見物したくなるようなガイド本を紹介しています。東京の新たな一面を発見してみませんか。
- 3F グリーンゾーン**
「集めてみた」(～2/14)
「集」をキーワードにさまざまなモノ・コトを「集めてみた」展示です。「あなたが集めているもの」のアンケートも実施。一緒に「集めて」みませんか？

展示 PICK UP

■3Fブルーゾーン【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン ～4/17(金)

Beauty
—美女とは?—

表現の世界における「美女」。また、歴史上に名を連ねる「美女」。そんな彼女たちの秘密や魅力に迫り、我々にとって「美女」という存在は一体何であるか、その真髄に迫ります。見た目だけでは語りつくせない、華しく輝く女性たちの「美」をぜひご覧ください。

▼館内では「ポモース100号記念企画展示」を行っています。詳細は中面をご覧ください。

▼ポモースとは...
1階にあるフレスコ画「文化の壁」に描かれた創造の女神ポモースから名づけられました。日比谷図書文化館が想像力や好奇心を刺激し、皆様にとっての実りある施設を目指す想いが込められています。

『美人の歴史』
ジョルジュ・ヴィガレロ 著
後平 滯子 訳
藤原書店 2012年

『美人画の四季』
加藤 類子 監修
青幻舎 2012年

『美しい女(ひと)になる』
P.Sジュレイベール 著
伊藤 緋紗子 訳
光文社 1999年

■3Fエレベーターホール ～2/21(金)

千代田図書館連携展示

「いまさら聞けない？芥川賞・直木賞」

千代田図書館企画展示「いまさら聞けない？芥川賞・直木賞」と連携し、芥川龍之介、直木三十五、そして菊池寛についてパネルで紹介。この3人にまつわる本の展示も行っています。また直木賞の選考委員でもある小説家、北方謙三氏の講演会を開催します。(詳細については、中面をご覧ください)

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

2011年11月4日の開館にあわせて発行された広報誌「ポモース」は、2020年2月号で100号を迎えました。図書館という機能を中心に、多彩な文化情報を発信する特別展、学びと交流の場を創出する日比谷カレッジ、そして古書や千代田区の文化財にも触れられる「知の拠点」として日比谷図書文化館の様々なる顔をお伝えしてきました。これからは「ポモース」は、皆さまがまだまだ知らない日比谷図書文化館の魅力や新しい情報などを沢山お届けします。是非お手に取ってご覧ください。

おかげさまで
100th Anniversary
ポモース

都市をデザインする
大正モダニズム
ブルドゥーテ
日比谷に
子どもたちの生活
感動を
日本統治期の
台湾を知る
チャーズベスト
写真展
アール
デコの造本芸術
荒事川團十郎
の世
点
森
たどる
旅
の
世界

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

四番町図書館の移転に伴う休館のお知らせ

《休館期間》
2020年1月15日(水)
2020年3月31日(火)

四番町図書館は、(仮称)四番町公共施設整備に伴う仮施設への移転作業のため、休館いたします。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

▼仮施設所在地▼
千代田区三番町14-7(2020年4月1日開館予定)

《お問い合わせ先》四番町図書館 TEL:03-3239-6357(9時～17時)
※2月1日以降は千代田図書館(TEL:03-5211-4290)へ

《移転作業に伴うサービスの休止について》
下記サービスにつきましては3月31日(火)までご利用できません。四番町図書館以外の千代田区立図書館をご利用ください。

- 所蔵館が「四番町図書館」の資料はご利用できません。(蔵書検索・貸出・予約など)
- 予約資料の受取および受取館の指定 ※受取館の変更は、ホームページ内のマイページ、館内検索機、電話、図書館カウンターで行えます。
- 他自治体からの資料取り寄せ
- おはなし会・イベント
- ブックポストの利用 ※1月31日(金)までご利用いただけます。

calendar 開館時間:平日10時～22時 ■土曜10時～19時 ■日祝10時～17時 ■休館日

2020年2月							2020年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	13	14
9	10	11	12	13	14	15	15	16	17	18	19	20	21
16	17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27	28
23	24	25	26	27	28	29	29	30	31				

■お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

access
〔都営地下鉄〕
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
●丸ノ内線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

2・3月の講座

「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

2/3 (月) 世界の音楽2020 遙かなる森の国から～パンフルートの贈り物～

講師：櫻岡 史子(日本ルーマニアパンフルート協会会長)

遙かなる森の国、美しいルーマニアの文化や音楽に触れ、世界最古の管楽器とも言われるパンフルートの歴史や日本との繋がりを知り、その音色に触れ、パンフルートの世界について学びを深める講座です。



- 日時:2月3日(月)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

2/6 (木) 北方謙三 北方謙三ワールドを語る

講師：北方 謙三(小説家)

1970年に純文学『明るい街へ』で学生小説家としてスタート。その後ハードボイルド小説の旗手として長く活躍され、現在では『チンギス紀』『水滸伝』『楊令伝』『岳飛伝』『三国志』などの歴史小説でも大人気の北方謙三氏を迎え、氏の来た道、広大な北方謙三ワールドについてお話しいたします。



- 日時:2月6日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

2/13 (木) 千代田区内ミュージアム連携企画 千代田で学ぶ化石の断片(はなし)

講師：宮田 真也(城西大学水田記念博物館大石化石ギャラリー学芸員)

化石は過去の生物相や進化、さらには古環境についても物語ってくれる地球からの手紙といってもよいでしょう。この講演では「化石とはなにか?」から始まり、身近な化石や最近の研究についてまでお話します。



「カワムツ(Nipponocypris temminckii) 透明骨格標本」(宮田・飯本, 2018)

- 日時:2月13日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円(千代田区民 500円)

2/18 (火) 上廣・日比谷ライブラリーレクチャー 私の修業時代 情報とポエジーをめぐる旅

講師：西垣 通(情報学者・東京大学名誉教授)

道を極める人はどのような修業をするのか。各界の著名人が、志を立て自らを磨いてきた道筋を語る講座、私の修業時代。今回は、半世紀近くにわたって、理系の知と文系の知を横断されながら、ネット社会やAI(人工知能)の未来を展望してこられた情報学者、西垣通氏に託しての修業時代とはどのようなものだったのかをお話しいたします。(主催:公益財団法人上廣倫理財団、共催:日比谷図書文化館)



- 日時:2月18日(火)19:00～20:30(18:30開場)
 - 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員:200名 ■ 参加費:500円(千代田区民・学生無料)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

2/25 (火) ビジュアル・ファッション誌がもたらしたものー女性たちの生き方とファッション

講師：坂本 佳鶴恵(お茶の水女子大学教授(基幹研究院 人間科学系))

近代日本から現代までの日本の大衆向け女性雑誌の変遷と、ファッションの位置づけの変化を追い、女性雑誌の歴史における「ファッション」の意味と女性たちの生き方の変化との関係についてお話します。なかでも1970年代のビジュアル・ファッション誌の出現・展開と、日本の女性たちの変化との関係に注目します。



- 日時:2月25日(火)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

2/26 (水) 税は痛みか?それとも連帯の礎か? ～今日より素晴らしい明日をつくるために～

講師：井手 英策(慶應義塾大学経済学部 教授)

人口減、少子高齢化、経済の停滞が直撃する21世紀の日本ーまさに「縮減の世紀」にあって、私たちはどのような社会の見取り図を描けばよいのだろうか? 財政哲学の転換、税と給付の再設計、そして地域のつながりを再生するための具体的方法を縦横無尽に語りながら、参加者とともに新たな日本社会を構想していきたい。



- 日時:2月26日(水)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

2/27 (木) 江戸歴史講座 第64回 江戸の大相撲を楽しむ

講師：土屋 喜敬(相撲博物館学芸員)

日本を代表する伝統文化のひとつとして注目を集めている大相撲が成立し、庶民の娯楽として親しまれるようになったのは江戸時代のことです。今回はおもに錦絵をご覧いただきながら、活躍する力士たちの姿や相撲場の様相を探っていきます。江戸時代の観客になった気分でお楽しみいただければ幸いです。



「東都両国回向院境内相撲の図」歌川広重(初代)

- 日時:2月27日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円(千代田区民 500円)

2/28 (金) 現代技術でよみがえる伝統木造建築

講師：木内 修(木内修建築設計事務所代表)

穴八幡宮随神門や尾張大国霊神社難追殿等の新築工事の事例を紹介しながら、建築基準法からも外された存在だった日本の伝統木造建築技術を科学的に解明し、現代技術として再構築した上で新たな伝統建築を創造する手法と未来への継承を考える。(企画・協力 NPO法人建築から社会に貢献する会)



尾張大国霊神社難追殿内観正面(写真撮影:新建築社写真部)

- 日時:2月28日(金)19:00～21:00(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

3/5 (木) 牧野富太郎が残した植物図

なぜ植物学者、牧野富太郎は心血を注いで植物を描いたのか
講師：大場 秀章(東京大学名誉教授、総合研究博物館 特招研究員)

生涯に渡り日本の植物の研究に努めた牧野富太郎は、ヨーロッパで発展したボタニカルアートの手法を採り入れ、多数の日本の植物を描いている。植物の姿かたちを文字だけでなく、精密な図解によって正しく伝えようと考えたのだ。牧野の植物図の特色などを、広くボタニカルアートの歴史から追ってみよう。



ホテイラン(出版1911年)

- 日時:3月5日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名
- 参加費:1000円

3/7 (土) 特別研究室 企画展示関連講座 クリエーターが語る 日本統治期台湾の建築の魅力と建築模型ができるまで

講師：今村 仁美(アトリエ イマージュ代表)

日本統治期の台湾で建造された建築物には今もなお活用されているものが数多くあります。“建物の正面だけを切り取る”というコンセプトで建築模型を制作する講師が、クリエイターの立場から考える台湾建築の魅力についてお話しし、また、模型制作の工程について詳しく紹介します。



児玉総督後藤民政長官記念博物館 建築模型制作:今村仁美(アトリエ イマージュ) 撮影:森賢一(Graphes)

- 日時:3月7日(土)14:00～15:30(13:30開場)
 - 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 - 定員:40名 ■ 参加費:1000円(千代田区民・学生500円)
- ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

3/10 (火) 千代田区内ミュージアム連携企画 「はにわ」の世界を探るー茨城県・舟塚古墳の埴輪群を例にー

講師：忽那 敬三(明治大学博物館学芸員)

人物や動物、家、武器武具などを表現した古代の「はにわ(埴輪)」は、およそ1500年前に権力者たちの墓の上に立て並べられました。1か所から出土した埴輪の展示としては都内でも最大級の明治大学博物館の舟塚古墳を例に、埴輪に表現されたまつりの様子と、そこにこめられた意味について紹介します。



- 日時:3月10日(火)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円(千代田区民500円)

足置き板がつく轍を表現した珍しい馬形埴輪(明治大学博物館提供)

3/11 (水) 星をたずねて・太陽系

講師：皆川 敏春(星のソムリエ@みか) / 北崎 直子(星のソムリエ@みか)

私たちの住む地球は太陽を中心とした家族構成を作っています。8つの惑星以外にも、それぞれのお供をしている衛星(月)や、流星・隕石の元になる小天体が無数に存在しています。現代は「はやぶさ」などが現地まで行って地球の生命誕生の謎を究明しています。今回は太陽系の惑星以外の天体を訪ねてみましょう。



撮影:皆川 敏春氏

- 日時:3月11日(水)19:00～21:00(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

江戸の人びと、本をたしなむ

文化財 特別展

日比丸ひびまる

江戸時代半ば、出版・印刷技術の発達とともに広まったとされる読書文化。本は娯楽として親しまれただけでなく、江戸の人びとの知的好奇心を刺激し、教養を深めるたしなみでもありました。今回は、齋藤吉之氏が昭和期に古書店をめぐり歩いて蒐集したコレクションの中から、特にバラエティー豊かな和本の数々をもとに、江戸時代の書物や読書文化を紐解きます。



齋藤氏旧蔵資料

- 会期:開催中～3月8日(日) ※休館日 2月17日(月)
- 開室時間:月～木・土 10:00～19:00、金 10:00～20:00、日・祝 10:00～17:00
- 会場:1階 特別展示室 ■ 入場無料

特別研究室 企画展示

蔵書と模型で見る 日本統治期台湾の建築

- 期間:開催中～3月29日(日) ■ 場所:4階 特別研究室
- 協力:今村 仁美(アトリエ イマージュ) ■ 入場無料

台湾には日本統治期に建造され、今もなお活用され続けている建築物が多くあります。今回の企画展示では台湾総督府民政長官・台湾総督を務めた内田嘉吉の旧蔵書の中から、現在も使われている建築物の資料を紹介するとともに、建築模型作家・今村仁美氏制作による日本統治期台湾の建築物の模型を展示します。長年にわたり人々に親しまれてきた建築物の魅力に平面(蔵書)と立体(模型)双方から触れてください。



台湾総督府/建築模型制作:今村 仁美(アトリエ イマージュ) 撮影:森賢一(Graphics)

広報誌 ポモータ 100号記念展示

■ 2月29日(土)まで

展示1 100th Issue Anniversary ～ポモータからみる日比谷図書文化館の歩み

【場所】1階 常設展示室壁面

【内容】2011年11月4日に発行された1号目のポモータから100号目となる2020年2月号まで解説なども加えながら全て展示します。

展示2 POP UP!! “Librarian’s Letter”

【場所】3階 エレベータホール

【内容】「Librarian’s Letter～図書フロアからのお知らせ」で紹介した本の中から約100冊を選び展示。歴代ポモータから飛び出した本をお楽しみください。